

10月5日 イランーアルメニアーアゼルバイジャン国境の地震

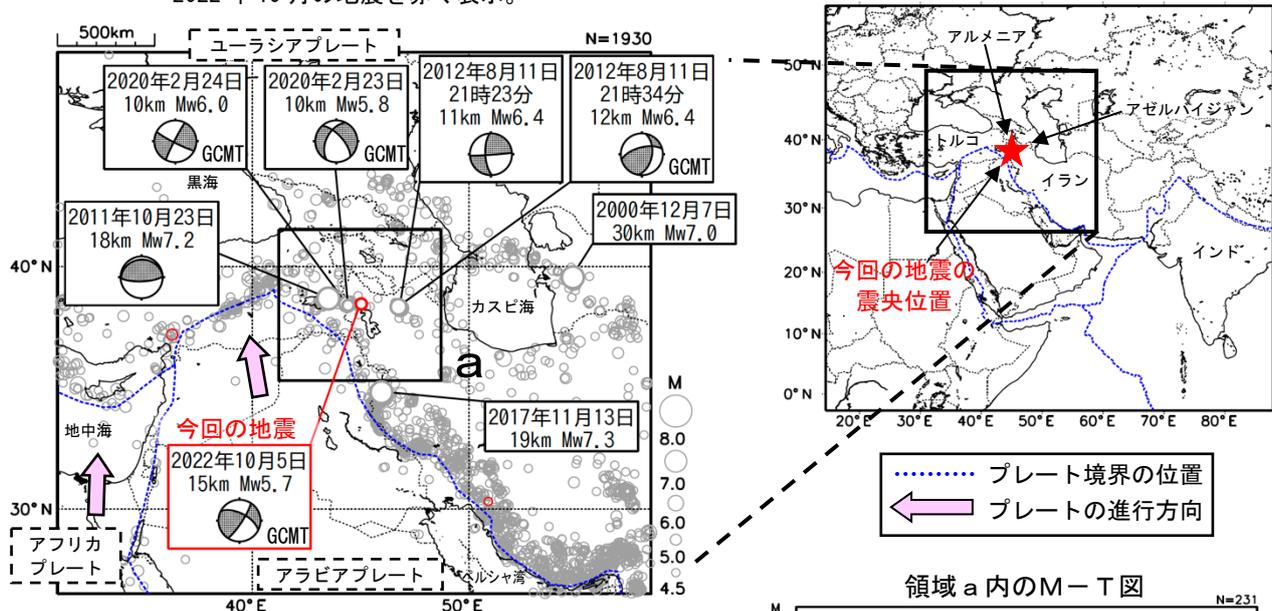
2022年10月5日09時21分（日本時間、以下同じ）にイランーアルメニアーアゼルバイジャン国境の深さ15kmでMw5.7の地震（MwはGlobal CMTによるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震の発震機構（Global CMTによる）は北北西ー南南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。この地震により負傷者1,127人、建物全壊112棟などの被害が生じた。

2000年以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域a）では、M5.0以上の地震が時々発生している。2011年10月23日にはMw7.2の地震が発生し、この地震により死者604人などの被害が生じた。また、最近では、2020年2月23日にMw5.8、同24日にMw6.0の地震が発生し、これらの地震により死者9人などの被害が生じた。

1970年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M6.0以上の地震が時々発生している。今回の地震の震央付近では、1976年11月24日にMw7.0の地震が発生し、死者3,900人などの被害が生じた。

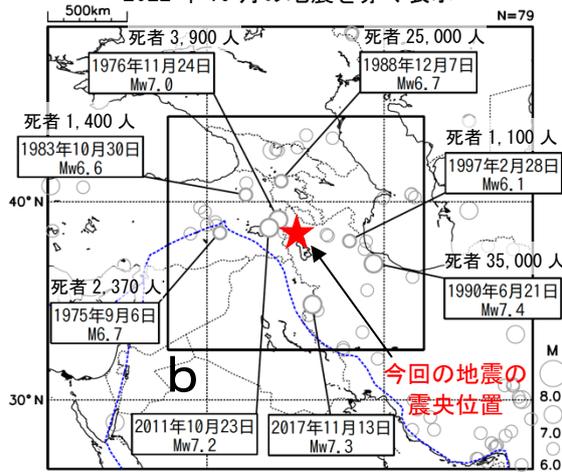
震央分布図

(2000年1月1日～2022年10月31日、
深さ0～100km、M≥4.5)
2022年10月の地震を赤く表示。



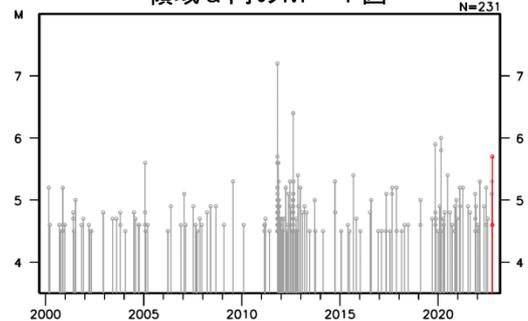
震央分布図

(1970年1月1日～2022年10月31日、
深さ0～100km、M≥6.0)
2022年10月の地震を赤く表示

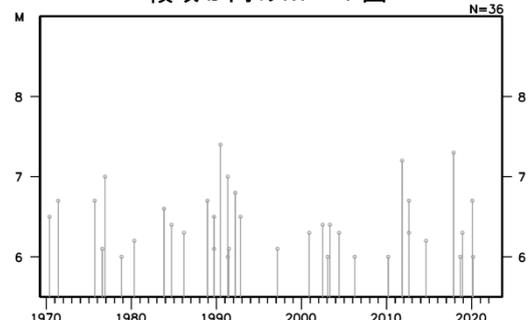


今回の地震、M7.0以上の地震及び死者1,000人以上の地震に吹き出しを付加

領域a内のM-T図



領域b内のM-T図



※震源要素は米国地質調査所（USGS）による（2022年11月7日現在）。ただし、発震機構とMwは、2011年10月23日の地震、2012年8月11日21時23分の地震及び2017年11月13日の地震は気象庁、その他の地震はGlobal CMTによる。プレート境界の位置と進行方向はBird (2003) *より引用。今回の地震及び2020年2月23日、24日の地震の被害は、OCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所、2022年10月18日現在)、その他の地震の被害は宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4 (3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.